

今日をまもり、明日につないで、未来を創る、ひかり輝く筑紫野市

～これからも安全な『みず』を安定供給～

## はじめに

水道は、市民の暮らしに欠かせない重要なライフラインであり、安全安心な水をいつまでも供給することは水道事業者の責務であります。

筑紫野市の水道事業は、計画給水人口 15,000 人、計画一日最大給水量 3,000m<sup>3</sup>/日の創設認可を昭和 32 年に取得、昭和 35 年に給水を開始しました。その後、需要の増加や給水区域の拡大に対応するために計 6 回の事業変更認可を受け、現在、計画給水人口 105,600 人、計画一日最大給水量 34,700m<sup>3</sup>/日で拡張事業を行っています。



当市の水道事業を取り巻く環境は、将来人口の減少、節水型機器の普及などにより水需要が今後減少していくことが予測されます。また、その一方で老朽化した水道施設の更新費などは増大していくことは確実であり、これまで経験したことのない転換期を迎えようとしています。

こうした中、国においては平成 16 年 6 月に「水道ビジョン」、平成 25 年 3 月に「新水道ビジョン」が策定され、「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」を目指しています。

本市においては「今日をまもり、明日につないで、未来を創る、ひかり輝く筑紫野市」を基本理念とし、今後の水道事業の目指すべき方向として「持続」「安全」「強靱」を柱とする「筑紫野市水道ビジョン」を策定いたしました。

本ビジョンで、本市の水道事業がおかれている現状を分析し、将来像を明らかにすることにより、これからも安全な「みず」を安定供給できるように努めてまいりますので、市民の皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

筑紫野市長 藤田 陽三

## 目次

### 第1章 筑紫野市水道ビジョンの策定にあたって

- 1-1 策定の主旨…………… 1
- 1-2 位置付け…………… 2

### 第2章 筑紫野市の概要と水道のあゆみ

- 2-1 筑紫野市の概要…………… 3
- 2-2 筑紫野市の総合計画…………… 4
- 2-3 水道のあゆみ…………… 5

### 第3章 水道事業の現状と課題

- 3-1 水需要…………… 7
- 3-2 水道施設…………… 9
- 3-3 給水サービス…………… 16
- 3-4 環境への配慮…………… 22

### 第4章 将来の需要

- 4-1 水需要予測…………… 23

### 第5章 筑紫野市の目指すべき方向

- 5-1 基本理念…………… 29
- 5-2 施策目標…………… 30
- 5-3 施策体系…………… 34
- 5-4 基本施策…………… 35

### 第6章 施策の実施工程とフォローアップ

- 6-1 施策の実施工程…………… 45
- 6-2 計画の推進とフォローアップ…………… 46